

香菜通信

【発行】

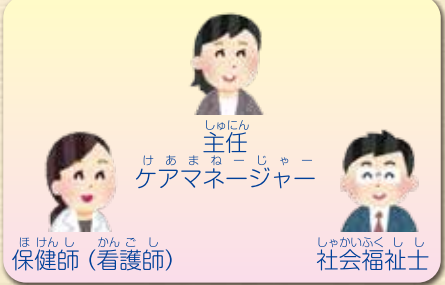
社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
東北中国帰国者支援・交流センター
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

帰国者1世の方々の平均年齢は、75歳といわれています。センターでは、皆さんが地域とのつながりを持ち、関係機関などを有効に利用しながら、いつまでもいきいきと安心して生活できるよう支援を行っています。今回は“介護予防の拠点”である“地域包括支援センター”のご紹介です。

地域包括支援センター

役割 ~高齢者の総合的な生活支援の窓口~

地域包括支援センターでは、高齢の方々が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう、専門職員の“チーム”が支援を行います。



- *総合相談・支援**
 - 高齢者に関する幅広い相談の受け付け
 - 相談に応じた情報提供、サービス調整
- *介護予防ケアマネジメント**
 - ケアプランの作成(要支援の方対象)
 - 介護予防教室等の実施(高齢者対象)

- *権利擁護**
 - 虐待や認知症でお困りの方の相談対応等
- *その他**
 - 医療機関や行政、介護サービス事業所、ボランティア団体など、地域の関係機関とのネットワークを通じて、高齢者の生活全体を支えています。どこへ相談してよいかわからないような困りごとや心配ごとも、地域包括支援センターに相談することができます。

帰国者の支援にあたって ~職員の方にお話を伺いました~

お話：仙台市将監地域包括支援センター 所長高橋孝子氏、看護師北林明子氏

日本語での意思疎通が困難な帰国者の方を訪問する際には、通訳さんに同行いただいています。具体的には、介護プランの更新や福祉機器の点検時。本来であれば、電話やモニタリングなどを通じて、もっと支援をしたいところですが、言葉が通じないことで通常のケースとは差が生じてしまうのが実情です。

地域や家族とも疎遠である場合、生活範囲は、中国語で完結する家庭のなかに限られがちで、通訳さんが訪問すると、待っていたように色々な話をされます。言葉の壁で“がまん”をしていると、症状が重症化してしまうことがありますから、そういった意味で、地域に帰国者の方が集える場所があるといいですね。長い目

で見て、継続性のあるサロンのような。なかには、地域で中国語を勉強している方々もいらっしゃいます。その辺りで地域の方とのつながりもあればと感じます。帰国者の皆さんには、言葉が通じず、めげることがあっても“地域に溶け込む”努力、前向きな気持ちを持ち続けてほしいと思います。

支援者・関係者の皆さまへ ~帰国者の方々が抱える言葉の問題の一例~

家庭訪問や電話相談時、帰国者の方々からは、日本の医療や介護保険制度、手厚い生活保障などに感謝の声が聞かれます。一方、言葉の壁で日常的に大変苦勞をされている現状が見受けられます。

日本語を話す機会がない	情報が入らない理解できない	高齢で、言葉が覚えられない	近所づきあいが無い	偏見の目で見られる
活動・選択の制限	電話には出ない、通院や面倒な手続きなどを避ける傾向がある	相手の厚意に応えることができず、申し訳なく思う	言葉の壁	ストレス
日本語・中国語とも読み書きができない	コミュニケーションがとれず、介護保険サービスの利用には抵抗がある	孤独感		

※お住まいの地域の中国帰国者の方々への支援に際し、自立支援通訳等の派遣が可能です。まずは、当センターもしくは、実施自治体にご相談ください。

日本語教室・パソコン教室だより

第28号に引き続き、開所から丸7年を迎えた当センターの日本語・パソコン教室の様子をお届けします。今回は、在籍7名の「パソコン入門」クラス。このクラスは、繰り返し文章を入力することで、語彙と表現を増やし、パソコンに興味を持つということを目指しています。

パソコン入門



この日の課題は、ふりがなの振られていない文章を入力し、編集すること。読み方の分からない漢字は、IMEパッドを使用し、手書きで入力していただきました。授業には通訳が付き添い、ひとりひとりに寄り添った授業が進められています。

インタビュー 受講生の声

Q. パソコンを勉強しようと思ったきっかけを教えてください また、パソコンを覚えたら、どんなことをしたいですか？

最近、銀行や駅の券売機などでもパソコンのような機械(タッチパネル)を操作することが多いので、パソコンを勉強したいと思いました。(学習歴2ヶ月のS1さん)

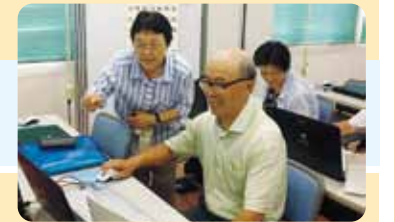
インターネットで中国のドラマを見たいです。(学習歴2年のIさん・Lさん)

自宅でも文章をついたり、中国の家族とメールやテレビ電話などでやりとりをしたいです。(学習歴2ヶ月のHさん)

Q. 担任の後藤先生は、どんな先生ですか？

親切に教えてください。(皆さん)

言葉が分からなくても、身振り手振りで教えてくれるので、安心して受講できます。(S1さん・Hさん)



Q. 授業の感想を聞かせてください

漢字が大好きなので、入力が楽しいです。(Hさん)

最初は、ひらがなをローマ字で入力するのが大変でしたが、だいたい慣れてきました。編集は難しいですが、とても楽しいです。(学習歴1年のS2さん)

日常生活に役立って嬉しいです。(S1さん)

入力するときは、とても集中します。日本語の勉強になって楽しいです。(Iさん)

今までパソコンに触ったことがなかったので、不安がありましたが、2ヶ月やってみて、少しずつ入力の仕方がわかるようになりました。今は、できそう!と手応えを感じています。(S1さん)

メッセージ 後藤講師から

「授業では、作品が毎回1枚ずつできあがることで、達成感が得られている様子です。また、パソコン操作や作業内容はもちろん、身の回りの様々な語彙も、無理なく自然に学ぶことができるようで、未知のことや新しい発見に遭遇したときなどは、皆さんから歓声が上がりますよ。そんな皆さんのリアクションが楽しいです。」とおっしゃる後藤講師。皆さんを、パソコン学習と日本語学習の両面からサポートしてくださっています。

10・11月の行事予定

- 10月8日(水) 移動日本語交流会(山形県)
- 10月28日(火) 南ブロック日本語交流・研修会(福島県)
- 10月31日(金) 就労研修会(宮城県)
- 11月下旬 北ブロック日本語交流・研修会(青森県)

住所変更お届け出のお願い

住所等が変更となった場合、お手数ですが、センターまでお知らせください。引き続き、当広報誌を送付させていただきます。

平成26年度後期 通学課程受講申込受付中

申込締切り：9月19日(金)

人数に余裕のある場合は、随時申し込みを受け付けます。詳細はお気軽にお問い合わせください。皆さまの申し込みをお待ちしています。(教務主任：咲間)

編集後記：「パソコン入門」クラスのインタビューでは、「楽しい」「面白い」など喜びの声がたくさん聞かれました。なかには、熱心に指導して下さる先生を、「大好き!」という率直な声も。脳の健康維持増進や見聞を広めることにもつながるパソコン。何より、「好き」「楽しい」が増えると、生活が潤うようです。皆さんも何か新しいことを始めてみませんか？センターでは、後期通学過程の受講者、募集中です。(石黒)